

第七十三回 帝國議會 衆議院 國民健康保險法案委員會議錄(速記)第九回

付託議案
國民健康保險法案(政府提出)

(一〇八)

昭和十三年二月十五日(火曜日)午後二時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事喜多壯一郎君 理事青木亮貫君

理事小笠原八十美君 理事北勝太郎君

理事佐竹晴記君

高田耘平君

清水留二郎君

寺島權藏君 中崎俊秀君

木原七郎君

成島勇君

高見之通君

山田順策君 岩元榮次郎君

森榮藏君

松尾孝之君

鹽川正藏君

小野安倍 寛君

守屋榮夫君 河合義一君

田中耕君 田中養達君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 工藤鐵男君

厚生參與官 山本芳治君

保險院長官 進藤誠一君

保險院總務局長 佐藤基君
保險院社會保險局長 清水玄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
國民健康保險法案(政府提出)

○添田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日質問ノ打切ヲ致シマシタガ、本日ハ直チニ討論ニ入りタイト思ヒマス

○喜多委員 國民健康保險法案ニ付テ、立憲民政黨ヲ代表シテ私ハ次ノヤウナ附帶條件ヲ付シ、政府提出ノ原案ニ贊成スル者ニアリマス、即チ

第一ハ 政府ハ將來補助金ヲ増額シ國民健康保險組合普及ノ促進ヲ圖ルベシ

リ醫療內容ノ低下ヲ來サシメザルヤウ特ニ留意スベシ

第三ハ 政府ハ第二十四條ノ規定ニ依ル規約ニ付キ規約例ヲ制定シ、其中ニ國民健康保險組合ハ診療以外ノ藥品及び賣藥ノ給付ヲ爲スコトヲ得ザル旨ヲ規定シ、且ツ其規定ヲ缺クモノハ之ヲ認可セザルコトト爲スベシ

以上三箇條ノ附帶決議ヲ付シテ、政府提出ノ原案ニ贊成スル理由ヲ以下申述ベマス

一國ノ榮枯盛衰ガ、國民其モノノ健康状態ニ依ッテ支配サレルコトハ説明ノ必要モナイ、國民ノ健康ソレ自體ガ國家ノ原動力タルコト亦説明ノ限リデナ、國家ノ產業日質問ノ打切ヲ致シマシタガ、本日ハ直チハ國防力ノ充實擴大ト云フコトモ、結局ハ國民ノ健康其事ニ依ッテ決定付ケラレルコトハ明白ナル事實デアル、隨テ國家ガ國民ノヨリ良キ健康ノ維持増進ノ爲ニ、國策ヲ確立スルコトハ、或ル意味デ廣義國防對策ノ土臺石デアルト信ズル、然ルニ今日マデノ我國ハ、其過去半世紀以上ニ亘テ、有ユル方面デ飛躍的發展ヲ見セテ來タニモ拘ラズ、國家活動力ノ源泉トモ云フベキ國民健康ノ維持増進ノ對策ニ付テハ、著シク消極的デアツタノミカ、寧ロ退黴的デアツト云フコトハ、蔽フベカラザル國家的怠慢デアリ、又政策的缺陷其モノデアツト言ハナケレバナラナイ、今日我國ガ支那事變ニ直面シテ、國民ノ長期抗戰體制下ノ大難局ヲ切抜ケテ行特ニ長期抗戰體制下ノ大難局ヲ切抜ケテ行ノ我國ハ、其過去半世紀以上ニ亘テ、有ユル方面デ飛躍的發展ヲ見セテ來タニモ拘ラズ、國家活動力ノ源泉トモ云フベキ國民健康ノ維持増進ト云フ事實ハ、國家的ニモ、又民族的ニモ重大事デアルト共ニ、國民ノ一人一人、即チ個人々々ニ取ヅモ、其個人々々ノ幸福ト生活安定ト云フコトヲ決定スルコトデアルカラ、是ハ決シテ等閑ニ附スル譯ニハ行カナイ、サウシテ國民ノヨリ良キ健康ノ維持増進ト云フコトハ、如何ナル方法手段ヲ講ジテモ積極化サレナケレバナラナイ、國民ノ一人々々ガ健康體デ、其生活能力ヲ完全ニ發揮シテ居ルカ否カノ問題ハ個人ノ幸不幸ヲ決定スルノミナラズ、國家

ノ幸不幸ヲ決定スルコトデアルカラ、國家ハ國家其ノモノノ爲ニモ、亦病メル者、傷ケル者ニ對シテモ萬難ヲ排シテ醫療診療ノ健全ナル肉體ニ宿ルト云フ諺ノヤウニ、國民ヲ指導シテ行ク責任ガアル、此事實ニ對シテハ、今日ノ進ンダ國家生活ノ下デハ、國民ハ國家ニ對シテ當然之ヲ與ヘヨト要求スル權利ガアルト思フ、併シ個人ノ病氣負傷トソレニ對シテノ醫療診療、或ハ醫療診療上ノ給付ト云フコトニ付テハ、個人自ラノ責任ニ依ツテ又解決シナケレバナラナイコトデアルカラ、結局國民ノヨリ良キ健康維持増進ノ對策ト云フコトハ、一面デハ國家ノ力ヲ與ヘル必要ガアルト同時ニ、他面デハ個人ガソレニ協力スベキ本質ヲ持タネバナラヌト思フ、ダカラ國民ノ健康ハ國民生活ノ基礎デアリ、個人生活ノ土臺石デアルト云フコトカラ言ツテモ、之ヲ在來ノ醫ハテモ宜イノダト云フ風ナ、極ク狹イ慈善的ナ風ニ委セテ置クト云フコトハ許シ難イ、サリトテ今日ノヤウニ、日本ノ資本主義ガ高度ノ發達ヲシテ來テ、總テガ營利本位ノ經濟組織トナツテシマッテハ、金儲ケ主義、

テ、医学モ、醫療モ、診療モ當然ソコニ落込ンデ來ル、ケレドモ落込ンデ來ルカラト云ツテ、國家ハ之ヲ放置シテ置クト云フコトハ、國家其モノモ無責任ダト言ハナケレバナラヌ、ソコデ今日ノ時代ノ傾向ノ下デハ、國家ト國民個人ガ相協力シテ行クト同時ニ、又其國民ノ中ノ個人々ガオ互ニ扶ケ合ツテ、國民ノヨリ良キ健康狀態ノ爲ニ貧シイ者、或ハ經濟的ニ困ツテ居ル者デモ思切ツテ、安心シテ醫療診療ヲ受ケルコトガ出来ル制度ガ作ラレテ來ナケレバナラナイ、今日ノ日本ニ取ツテハ是ハ非常ニ必要デアツタガ、不幸ニシテ立遲レテ居タ感ガアル、遅レ駆セデアルガ今回國民健康保險法案ガ現レテ來テ、其缺陷ヲ補ツテ行クト云フ風ニ進ンデ行クコトニナッテ、吾々ハ本案ニ對シテ其成立ヲ衷心カラ希望シタノデアル
翻ツテ日本ノ在來ノ醫療問題ヲ檢討シテ見ルト、ソコニハ深刻ナ社會問題ガ「サゼスト」サレテ居ル、暗示サレテ居ルト斷言スルコトガ出來ル、病氣ニナッテモ金ガナイ爲ニ安ンジテ醫療診療ヲ求メルコトガ出來ナカツタト云フコトハ、農漁山村ト言ハズ、都會ト言ハズ、勤勞階級ヤ中產階級ヲ通ジテ來タ、此勤勞階級ヤ、中產階級ノ人々ガ醫

療的ニ、診療的ニ遠ザケラレテ居ルト云フコトノ原ト、或ハ見捨テラレテ居ルト云フコトノ原因ヲ、單ニ醫者ガ儲ケ過ギルトカ、藥價ガ高過ギルカラダトカ云フ風ニ、醫療診療ヲ爲ス者ノ責任ダト、一概ニ開業醫ナドニ負ハセリヤウナコトハ、根本的ニ誤ダト言ハナケレバナラナイ、資本主義社會組織ノ根本ガ個人的營利ヲ基礎トシテ居ル以上、如何ニ國家的ニ必要デアッテモ、又國民的ニ緊要ナ事デアッテモ、又如何ニ個人生活ノ上カラ言ツテモ、缺クコトガ出來ナイ事デアッテモ、金ガナイ、貧乏ダ、困ルカラト云フヤウナ、經濟的壓力カラ無視サレテシマフト云フコトモ、今日ノ國家生活ノ上カラ言ツテ、等閑ニ附スル譯ニ行カナイ、又醫者ニシテモ、醫ハ仁術ナリトカ、博愛ダカラト云フヤウナコトデ進ンデ行ク譯ニ行カナイ、自ラ食ツテ行カナケレバ死ンデシマフシ、生活能力ヲ失ツテシマフ、斯ウ云フ事ハ一言ニシテ言ヘバ、醫療診療ノ制度ガ、即チ國民ノヨリ良キ健康維持増進ノ根本制度デアル開業醫制度、或ヘ診療行爲トカ、診療給付制度トカ云フヤウナモノガ、資本主義的營利本位ノ舊弊カラマダ解放サレテ居ラナイト云フ

人問題カラ一轉シテ、深刻ナ社會問題トナ
リ、又國家問題トナツク、資本主義的社會組
織ノ根幹デアル個人的營利ヲ修正スルト言
フカ、或ハ國家ガ「コントロール」スルト云
フ所マデ進ンデ來ナケレバナラナイガ、其
以前ニ相互扶助的ナ社會生活ノ原理ガ、此
醫療制度ノ上ニ現實化サレテ來タト云フコ
トハ、國民健康保險法ニ付テ多分ニ發見ス
ルコトガ出來ル、日本ノ勤勞階級、中產階
級、即チ毎日働イテ食ッテ行ク、働イテ生活
シテ行クト云フ階級ハ、ソレガ農漁山村
デアラウト、或ハ都市ニ住ム者デアラウ
ト何レヲ問ハナイ、病氣、疾病、負傷デ
モスルト、其窮乏ナ貧困ナ經濟生活ハ、
根コソギ破壊サレテシマフ、彼等ヘ病氣ヲ
恐レル以上ニ、貧困ト窮乏ト云フコトヲ恐
レテ來ル、ダカラ今日ノ我國デハ貧困窮乏
ナルモノハ、ヨリ高イ罹病率ヲ示シテ居ル
シ、罹病率ノ高イノハ經濟的ニ多クノ貧
困、或ハ窮乏ノ中ニ追込マレテ來テ居ル、
此社會的缺陷、即チ資本主義組織ノ受難者
トモ言フベキヤウナ此勤勞階級ト中產階
級ノ大眾ヲシテ、疾病、負傷ニ依ル貧困、窮
困ノ破産狀態カラ救フコトダケデモ、國家
ハモット手ヲ擴グ足ヲ伸バシテ、財政力ト、
設備ト、制度トヲ完備サシテ與ヘテ行カナ

ケレバナラナイ、併シソレニ伴フニ本法案デハ、所謂相互救濟ノ精神ニ基イテ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ保険的根據ニ依ツテ、一般國民ノ醫療費ノ經濟的重壓ヲ除イテ、サウシテ診療ノ平易化、醫療ノ普及化ト云フヤウナコトヲ、國家ノ力デ計畫シタ對策デアルカラ、或ル意味デ時局ニ對應スル政策デアルト共ニ、又日本ノ國策ノ一ツデアルトモ言フコトガ出來ル、同時ニ最近謳ハレテ居ル事變ニ伴フヤウナ、一種ノ不安ナ社會生活ノ幾分カデモ、即チ病メル者、傷ケル者ニ對シテダケデモ、或種ノ安全サト云フカ、安定サヲ與ヘルト云フコトヲ期待スルコトガ出來ル、此意味デ吾々ハ政府原案ヲ無修正デ通スコトニ賛成スル

併シ政府當局ニ對シテ一言シタイコトハ、吾々ガ無修正デ贊成ハシテモ、本案ニ對シテハ打消シ難イ不滿、不足ハ十二分ニ持ッテ居ル、即チ吾々ハ法案ノ内容ニ對シテモ、或ハ法案ヲ實施スルニ對シテノ財政的ナ根據ニ對シテモ、全面的ニハ満足ハシテ居ナイ、其満足シテ居ナイ點ガ、實ハ附帶決議ノ第一、第二、第三トナッテ來テ居ル、隨テ此附帶決議ハ附帶決議デアリマスガ、政府ハ等閑視シ、或ハ之ヲ輕視スルト云フコトガアッテハ、吾々ハ斷乎トシテ重ネテ鬪ッテ

テ行カナケレバナラナイ、トモスルト政府ハ中々横著ニナッテ來テ、附帶決議ナドト

云フコトヲ輕ンズル弊風ガ、益甚シクナツ

テ來ルカラ、此附帶決議ニ對シテダケハ、

カル必要ガアルト云フコトヲ一言スル

本法案ガ國民生活ノ安定ヲ來サシムベキ

方面、即チ社會問題化シツ、アル現在ノ醫療

費ノ重壓ヲ取除ク點ニ付テ、大體吾々ハ此法

案實施ニ付テノ豫算額ガ、餘ニ少額デアル

コトニ非常ナ不滿ヲ持ツ、是デ全國ニ普及

シテ行カウト云フ中々法螺ニ等シヤウナ

横著ナ答辯ヲシテ居ルガ、出來ルモノデナ

イト思フ、單ナル貧弱町村ニ對シテノミカ、

事ニ依ルト最モ先ニヤツテ行カナケレバナ

ラナイ無醫村ニ對シテダケデモ、近々ノ内

ニハ出來ヤセヌデハナイカト云フ不安ヲ持

ツ、是ト同時ニ又其出來タ組合ニ對スル補

助金ノ支出モ、當然少額トナルヤウナ金額

デアルカラ、此程度ノ豫算デ之ヲ行ツテ行ク

ト云フコトハ、折角ノ國策デハアルガ、金

ノ方面デ貧弱國策タルノ誇ヘ免カレ難イト

思フ、殊ニ實ヲ言フト此法案ヲ實施スル爲

ニ、厚生省ナル一省ガ出來タ云フ風ニ吾々

ハ解釋スル、後ノモノハ附タリグラウト

思フ、此法案ノ實施ニ對シテ財政力ノ微弱

ガ、此點ハ今度ノ政府提出案ニ依ルト「營

デアルト云フコトハ、厚生省ガ出來テモ、

出来ナカッタ内務省時代ノ提案時代デモ變

リガナイ、此點ハ厚生省ノ面目ト云フヨリ

モ、寧ロ一省ノ面目如何ヨリモ、國民健康

保險法ノ爲ニ、一ツ次年度ハ大イニ財政當

局ヲ鞭撻シ、理解セシメテ補給スル、擴大

充實スルト云フ風ナ態度ニ出テ行ツテ貰ヒ

ニ提出サレテ、隨分其法案ノ不備不完全ナ

タイト思フ、既ニ此法案ハ第七十帝國議會

ニ提出サレタ、隨分其法案ノ不備不完全ナ

ル方面ヲ、四方八方カラ突カレタ、突カレ

タ御蔭デ厚生省案トシテ出テ來タ今度ノ案

ハ、相當ニ啓發サレタ點ガ見エルコトハ喜

バシイケレド、何トシテモ、完全ダトハ言ヘ

ナイ、同時ニ豫算ガ非常ニ少イト云フ點ニ

更ニ附帶決議ノ第二ノ事項デアルガ、是ハ國民健康保險法ノ實施ニ當ツテハ、醫療内容ノ低下來サザル様政府ハ努力スペシト云フコトデアルガ、是ハモウ説明スル必要ガナイ、當然過ギル程當然デアルガ、政府ガ怠ツテハイカヌカラト云フ、吾々ノヨリ以上ノ鞭撻心ヲ政府ニ説明シタコトナノダ、此事ニ付テモ、第四十六條ノ規定ハ、醫療機關ノ自由選擇ヲ、廣イ範圍ニ於テ確保スル意思表示デアルカト、昨十四日ノ委員會ニ於テ、添田委員長ガ代表的質疑ノ中ニ加ヘラレテ居ツタガ、ソレニ對シテモ木戸厚生大臣ハ、同ジ解釋ノ態度ヲ執ツテ行クト謂ハレテ居ルノデアルカラ、是レ以上吾々ガ要求スルコトモ、亦説明スルコトモ蛇足デアルカラ省略スル

附帶決議ノ第三項ハ賣藥業者ニ對スル問題デアル、國民健康保險制度ハ、醫療ヲ普及スルコトガ大眼目デアルガ、醫療ヲ普及スルコトニ付テ必然的ニ出テ來ルコトハ、同時ニ數百年來日本デ存在シテ居ツタ地方民ニ對スル配置賣藥ト云フコトノ間ニ於ケルトモ相剋摩擦ナノダ、配置賣藥業者ガ今日マデ日本ノ發達シナイ不完全ナ幼稚ナ醫療診療狀態ノ中ニ、非常ナ貢獻ヲシテ來タト云フコトハ、是ハ認メナケレバナラナイ、

又此制度ガ出來ルコトニ依ツテ、是等ノ配置賣藥業者ニ對シテ直接急激ナ變動、影響ヲ與ヘルト云フコトモ、成ベク吾々ハ避ケテ行キタイト云フ考ガアル、特ニ賣藥業者三百家ノ生活ニ脅威ヲ與ヘルト云フ風ナコトモ、是ハ政府トシテ當然考ヘナケレバナラナイ責任ガアル、此點ニ付テハ吾々ハ第七帝國議會ニ於テモ、衆議院ハ内務省案トシテ出サレタ「國民健康保險組合ハ診療以外ノ藥品及賣藥ノ給付ヲ爲スコトヲ得ザル旨第二十六條ノ規定ニ依ル規約ニ明示スベシ」ト附帶決議ヲ付シタ、今度ハ更ニ其趣旨ヲ徹底セシメル爲ニ、第三項ノ附帶決議ヲ付シタノデアリマスカラ、此點ハ醫藥分業調査會ナドデ既ニ出來ルノダカラ、十二分付シタノデアリマスカラ、此點ハ醫藥分業希望スル、新聞紙ノ傳フル所ニ依ルト、厚生省デハ此法案が成立シテ實施スルニ當付シテノ所期ノ眞意ヲ達セラレンコトヲ吾々ハ制度ハ圓滿ナル經營ヲ見テ、所謂本法案制定ノ眞意ヲ達セラレンコトヲ吾々ハ

仕事デアルヤウデハ到底私共ハ旨ク行カナイト思フ、トモスルト官僚獨善呼ベリナンキタイ、又國民健康保險制度ヲ制定スル政府ノ意圖ガ、眞ニ國民生活ノ安定ト、國民ノヨリ良キ健康ノ保持増進ヲ期セントスルノニアルノダカラ、本案ノ實施ニ付テハ十二分ノ用意ト準備トヲ以テ努力セラレン十二分ノ用意ト準備トヲ以テ努力セラレン所ノ爲ニ作ル制度デハナクシテ、先程來申上ガタ通リ日本ノ爲ニ、日本ノ國民ノ爲ニ、コトヲ切望スル、殊ニ此制度ハ事業ノ内容カラシテ自然的ニ地方ニ分散サレル、同時ニ地方ノ實情ニ委ネラレル點ガ多イノデアルカラ、其運用ニ付テハ十分指導監督ニ留めタリ、其點ニ付テ私共眼ニ付クコトハ、折角ニ政府ハ此附帶決議ヲ實行スルノ眞意ヲ持ッテ進ンデ行カレタイト希望スル、此他種々ノ希望條項ガアリマスガ、概ネ委員長ノ代表質疑ノ中ニ含マレテ居リマスカラ省略ヲスル、唯醫療類似ノ諸診療行爲ノ取締ニ付テハ、各府縣ニ於テ取締規定ガ制定サレテ居ルカラ、十分グラウト云フ風ナ態度ガ、近畿ノ部門ヲ置カウカト云フ風ナコトモ傳ヘチ總務、經濟、學務、警察ノ四部門ノ外ニ、或種ノ部門ヲ置カウカト云フ風ナコトモ傳ヘラレテ居ルシ、或ハ昨日ノ委員ノ質疑ニ付テ、大臣ハ其點ニ付テ、マダ何等ノ考ガナイト言ハレタヤウデモアルガ、作ラレテモ作ラレナクテモ、要ハソレハ枝葉ノコトダラト云ツテ期待ノ出來ヌ者モアリマスガ、ソシナ意味デナクシテ、第一近衛内閣自身ガ、第一此法案ニ依ツテノ國策ヲ行フノダト云フラト云ツテ期待ノ出來ヌ者モアリマスガ、ソシナ意味デナクシテ、第一近衛内閣自身ガ、第一此法案ニ依ツテノ國策ヲ行フノダト云フ

理由ヲ付シテ、私ハ立憲民政黨ヲ代表シテ、政府提出原案ニ對シテ賛成スル所以デアリマス

○添田委員長 西川君

○西川委員 私ハ立憲民政友會ヲ代表致シマシテ、只今議題ニナッテ居リマスル國民健康保険組合法案ニ賛成ノ意ヲ表シ、併セテ只今喜多委員ヨリ提議サレマシタル附帶條件ニ賛成スル者デアリマス、以下簡單ニ賛成ノ理由ヲ述べマス

國民ノ保健衛生ノ問題ガ極メテ重大デアリマスルコトハ、何時ノ時代ニ於キマシテモ、何處ノ國ニ於キマシテモ變ル所ハナイノデアリマスガ、特ニ最近ノ我國ニ於キマシテハ、現下ノ時局ニ對シマシテ、有ユル意味ニ於テ國民方強クナクテハナラヌ、民族ガ質的ニモ量的ニモ強力デナクテハナラヌト云フ時局ノ要請ニ基キマシテ、而モ一下ノ實情ニアル、國民ノ體位ノ低下シツ、アル其原因ヲ繹ネマスレバ、國民ノ病氣ニ罹ル機會ガ、色々社會的ナ事情ノ爲ニ非常ニ增加シテ居ルニモ拘ラズ、之ニ伴フ所ノ醫療施設、國民ガ醫療ヲ受クベキ機會ハ、寧ロ逆行的ノ狀態ニアルト云フ此根本的事實ニアルト、吾々ハ考ヘルノデアリマス、

此委員會ニ於キマシテモ、屢々或ハ賣藥ノ誇大廣告取締ニ付テ、或ハ醫師類似行爲ノ取締ニ付テモ色々論議サレタノデアリマスガ、サウ云フ不愉快ナ、陰慘ナ現象ガ國內ニ起シテ居リマス、其基ク所ハ何デアリマセウカ、國民ハサウ云フモノニ行キタクハナインノデアリマシテ、正シイ醫療ヲ受ケタイ、合理的ナ醫療ヲ受ケタイト思ッテモ、經濟的制約ノ爲ニ其醫療ヲ受ケルコトガ出來ナイコトガ、是等ノ有ユル陰慘ナル問題ヲ生シデ居ル根本原因デアリマシテ、此根本ノ原因ヲ取去ラナカッタナラバ、政府ガ如何ニ努力サレマシテモ、此問題ノ解決ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアリマス、而シテ斯ル國民ノ熱烈ナル要求ニ基キマシテ、此制度ハ立案サレタコト思フノデゴザイマスガ、只今私共ハ本案ニ賛成ラシ、纏テ此法律ヲ世ノ中ニ送リ出サウト致シマシテ靜ニ顧ミマスル時ニ、國民ノ醫療費ノ輕減ノ欲望ガ餘リニモ強イノニ照シテ、此制度ニ依ッテ與ヘラレル實質ガ、餘リニモ貧弱ナノニ寧ロ私共ハ内心忸タルモノガアルノデアリマス、政事柄ニ對シテ居ルニモ拘ラズ、之ニ伴フ所ノ政府ニ於ケル實績ヲ見タ上デ、第二年度以下ノ豫算ノ支出ヲ考府ニ於カレマシテハ昭和九年ニ於テ此案ヲ立案サレマシテ、昭和九年ヨリ今日ニ至ル間ニ於ケル我國ノ急激ナル時局ノ

變化、此時局ノ變化ガ要求致シマス所ノ事柄ニ對シテ、政府ノ態度ニハ何等ノ進展ガナイ、何等ノ進歩ガナイ、昭和九年年ニ立案サレマシタ當時ノ狀態ノ其儘ヲ、此處ニ提出サレテ居ルト云フコトハ、私共ハ當局ノ時局ニ對スル認識ノ不足ニ、寧ロ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、私共の國民ハサウ云フモノニ行キタクハナインノデアリマシテ、正シイ醫療ヲ受ケタイ、合理的ナ醫療ヲ受ケタイト思ッテモ、經濟的制約ハ出來ルナラバ、斯ノ如キ不徹底姑息ナル法案ハ之ヲ葬ッテ、吾々議員ニ於テヨリ完全ナル法案ヲ提出シ、是ガ成立ヲ圖リタイトガ、是等ノ有ユル陰慘ナル問題ヲ生シデ居ル根本原因ニ於キマシテハ、議員提出ノ法律案ノ成立ガ中々容易デナク、假ニ是ガ成立致シマシテモ、是ガ實施ニ當來ナインノデアリマス、而シテ斯ル國民ノ熱烈ナル要求ニ基キマシテ、此制度ハ立案サレタコト思フノデゴザイマスガ、只今私共ハ本案ニ賛成ラシ、纏テ此法律ヲ世ノ中ニ送リ出サウト致シマシテ靜ニ顧ミマスル時ニ、國民ノ醫療費ノ輕減ノ欲望ガ餘リニモ強イノニ照シテ、此制度ニ依ッテ與ヘラレル實質ガ、餘リニモ貧弱ナノニ寧ロ私共ハ内心忸タルモノガアルノデアリマス、政事柄ニ對スル認識不足ニ基イテ居ルコトガ、明カニナッタノデアリマス、隨テ代行機關ガ不完全デアルガ爲ニ、普及カ妨ゲラレタシタナラバ、其全責任ハ當局ガ自ラ負ヘレナクテハナラヌノデアリマス、此點ハ當局ハ十分ニ銘記シテ置イテ戴キタイノデアリマス、要スルニ當局ハドンナニ立派ナ「バス」ガ其處ヲ通ツテ居ッテモ、其「バス」ニ乗ルノハ厭

用車ニ乗ッテ歩キタイ、斯ウ云フ御考ガ此
法案ノ根柢ニハ潛ンデ居ルノデアリマス、
ノデアリマスガ、併シ此組合ノ普及ニ對シ
マシテハ、當局ガ全責任ヲ負ウテ居ラレル
ト云フコトハ、十分ニ御銘記ヲ願ヒタイノ
デアリマス、其他吾々ハ種々申上ゲタイ希
望等ヲ持ツテ居リマスケレドモ、時間ヲ節約
シマス意味ニ於キマシテ、成ベク之ヲ省略
致シマス、要スルニ此法律ニ依ル組合ノ普
及ニ對シマシテハ、當局ガ極メテ重大ナル
責任ヲ持ツテ居ラレル、四百四病ノ辛サヨ
リモ貧程辛イ病ハナイト云フコトハ、古來
カラ俗間ニ謳ヘレテ居ルコトデアリマスガ、
貧乏デアルガ爲ニ、病氣ノ際モ診療ヲ受ケ
ルコトガ出來ナイト云フ狀態ニアリマス、
大部分ノ我ガ國民ノ現實ノ狀況ニ對シマシ
テ、眞ニ熱情ヲ以テ、深キ同情ヲ以テ此法
律ノ執行ニ當ラレ、其重大ナル責任ヲ果サ
レンコトヲ希望致シマシテ、本案ニ賛成ヲ
シ、併セテ附帶決議ノ趣旨ニ關シマシテベ
シテモ、十分ノ誠意ヲ以テ、是ガ施行ニ當
既ニ此委員會ニ於キマシテ質疑應答ガ繰返
サレ、其意ノ存スル所ハ十分ニ御認識ノコ
トト存ジマスカラ、此決議ノ條項ニ關シマ

○北委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表シマシテ、聊カ意見ヲ申上げタイト思ヒマス、シテ、持ツテ居ル者デアリマスガ、時局ニ鑑ミマシテ淘ニ不満足ナガラ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、併シ此場合申上げテ置カナケレバナラヌコトハ、醫療内容ノ低下セザルヤウニトノ希望條件、是ハ實際問題トシマシテハ、結局金ヲ殖ヤスヨリ方法ガナイト思フノデアリマス、現ニ過般來醫師側ノ委員ノ方々カラ指摘サレマシタ如ク、金ガ足ラヌノガ此仕事ノ瘤デアルカラ、醫療内容ノ低下ハ必然ノ結果トシテ現ハレテ來ルモノト見ナケレバナラヌノデアリマス、政府ハ一戸平均約十四五圓ノ金ヲ徵收シテ、組合ノ經營ヲサセル積リダト答ヘラレテ居ルノデアリマスガ、實ハ是ハ大キナ負擔デアリマス、然ルニ更ニ此上負擔ヲ増加スルト云フヤウナコトハ、農村ノ現情カラ見マシテ全ク不可能ノコトデアリマスカラ、單ニ經濟的ノ見地カラ致シマシテモ、共同組合ニ代行セテ、先以テ多大ナル出費、即チ事務上ノ經費ヲ節約シナケレバナラヌノデアリマス、又屢々申上ゲマシタヤウニ、代行ニナリマスト赤字ガ出テモ、母體ヲ爲ス所ノ組合ト共

通經濟トナルノデアリマスルカラ、始末ガシ易イ、尙ホ進ンデ其母體組合ノ剩餘金ヲモ、本事業ニ使用セシムルコトガ出来ルノデアリマシテ、此金ノ不足ノ問題、醫療内容ノ低下ノ防止ト云フ問題ハ解決ガ付クノデアリマス、即チ代行ニ依ルコトガ最モ捷徑デアルト私ハ信ズルノデアリマス、人往々ニシテ産業組合ガ、ソンナ所マデ入り込マヌデモ宜イデハナイカト思ハル、カモ知レヌノデアリマスガ、ソレハ産業組合ニ對シテ穿違デアリマス、産業組合ハ物ヲ取扱フ機關ナドト考ヘラレ、單ニ利益追求ノ團體ト思ハレテハ、是ハ洵ニ大迷惑デアリマス、此處マデ入り込ンデ行カナケレバ、組合ノ運營モ出來マセヌン、使命モ果サレスノデアリマス、御笑ヒニナルカモ知レヌガ、早イ話ガ組合ガ此處マデ入り込マヌト第一組合ノ貸シタ金ガ取レヌ、此貸シタ金ガ取レヌト云フコトハ、即チ金ヲ借りタ人ガ返スコトガ出來ヌト云フコトデアル、是ハ次ニ借リル資格ヲ失フト云フコトニナルノデアリマシテ、其人ハ經濟的ニ農村カラ締出シヲ食フ、即チ自殺行爲トナッテシマヒマシテ、直グニ暮シガ立タナクナルノデアリマス、氣ノ毒ナ程小サイ經濟ノ農民生活デアル、此小サイ經濟ノ農民生活ヲ維持サセル

爲ニハ、當然組合ガ此處マデ乗出サナケレ
バナラナイノデアリマシテ、産業組合ノ本
質ハ實ニ此處ニアルノデアリマス、而シテ
此法律ガ出來マシテモ、此儘ノ進ミ方デヘ、
貧村程國民健康保険組合ノ設立ガ遲レル、
後廻シニナルノデアリマス、此事變下ニ於
テ、最モ保護ヲ要スベキ是等ノ貧村ガ、斯ノ
如クナリマスルコトハ全ク忍ビナイ所デア
リマス、政府ハ宜シク代行ニ關シマシテハ、
徒ニ杓子定規ノ解釋ヲ爲スコトナク、第五
十四條ノ精神ヲ能ク把握シテ、醫師ノ現狀
ニノミ偏セズ、又醫師ノ包藏致シツ、アリ
マスル心配ハ全ク杞憂デ、何等實質上ノ弊
害ナイモノト認定サル、モノニ付キマシテ
ハ、宜シク法ノ精神ヲ活カシテ、一日モ早
ク全國貧村ニ其普及ヲセシムル手段ヲ講ゼ
ラレンコトヲ望ンデ已マヌノデアリマス
以上申上ゲマシタコトヲ要約致シマスル
ト、政府ハ代行組合認可條項ニ付テハ、徒
ニ狹義ノ解釋ヲ爲サザルヤウ注意セラレタ
シ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、第
二項ハ醫療組合ノ認可申請ニ對シマシテ、
往々道府縣衛生課ニ於テ、故ラニ之ヲ阻止
スル傾キガアリマスノデ、之ヲ十分監督セ
ラレタシト云フノデアリマスガ、是ハ昨日
大臣ニ詳細申上ゲテ御答辯ヲ得タノデアリ

マスルカラ、本日ハ此内容ニ付キマシテハ申上ゲルコトヲ省略致シマス

次ニ賣藥ノコトニ付キマシテ此場合一言

セザルヲ得ナイノデアリマス、賣藥ハ今直

グニ保險組合デ配給スルノデハナイノデア

リマスカラ、之ヲ聞流シテ置イテモ宜イ

デハナイカト云フ風ニ思ヘレル向キガアル

カモ知レナイノデアリマスガ、必シモサウ

單純ニ考ヘテハナラヌト思フノデアリマス、

吾々農村居住者ノ家ニハ、藥屋サンガ二十

人以上モ來テ、澤山ノ賣藥ヲ置イテ行クノ

デアリマス、一人デ出來ル仕事ニ二十倍ノ

配給費ヲ使フ、其外ニ無駄ナ非常ナ澤山ノ

資本ヲ寢カセテ置クノデアリマスガ、ソレ

等ノ無駄ハ全部消費者ニ轉嫁サレテ居ル爲

ニ、全購聯デ配布シテ居る藥ノ三四倍モ高

クナツテ居ル（ソンナコトハナイ）ト呼フ

者アリ）イヤ實際デス、アナタ方ハ實情ヲ

知ラヌ……

〔ヤレ～ト呼フ者アリ〕

○添田委員長 静肅ニ……

○北委員 是ガ爲ニ農家ハ年五圓位デ濟ム

藥代ヲ、二十圓モ拂ハナケレバナラヌ理由

ハナイ、配賣藥ガ若シ他ノ脅威ヲ受クル

コトガアルトスルナラバ、是ハ實ニ良質低廉ハ他ノ商品ヲ驅逐スルト云フ此鐵則ニ支

配サルベキデアリマス、デアリマスカラ先以テ其點ノ改善ニ著眼セシムルコトガ親切

ナ行キ方デアル、徒ニ法令ノ力ニ縋ッテ消費者ヲ犠牲ニスルト云フヤウナコトガ、採リ

上ゲラレテハナラヌト思フノデアリマシテ、

此點ニ付テ當局ノ注意ヲ喚起シテ置ク次第

デアリマス、私ハ以上ノ理由ヲ付シマシテ、

本案ニ贊成致ス者デアリマス

○添田委員長 佐竹君

○佐竹委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ

シテ、希望條件ヲ付シテ、原案ニ贊成致シ

マスト同時ニ、附帶決議ニモ贊成ヲ表シマ

ス、原案竝ニ附帶決議ニ贊成致シマス理由

ハ、多クヲ申上ゲル必要ハゴザリマセス、

不十分ナガラモ茲ニ此重大ナル社會立法ノ

成立ヲ見ント致シテ居リマスコトヲ喜ブ者

デゴザイマス、儲テ私ノ付セント致シマス

希望條件ハ

第一、國民體位向上ノ爲メ工場、礦山、商

店ニ於ケル勞働時間ヲ制限シ、幼年工、

妊娠婦ノ保護竝ニ勞働者ノ榮養ニ關ス

ル保護制度ヲ樹テ、庶民階級ノ住宅改善

策ヲ確立セラレ度シ

第二、醫學教育制度ノ改善ヲ圖リ、廣ク

醫療機關ノ普及徹底ヲ期スルト共ニ、全

國三千五百ニ及ブ無醫村ヲ絶無タラシム

ベキ根本對策ヲ樹立シ速ニ之ヲ遂行セラレタシ

第三、本法實施ニ當リテハ現行健康保險法實施ノ實情ニ鑑ミ其弊害ヲ除去シ其運

營ノ圓滑ヲ期セラレ度シ

此三點デアリマスガ、今私ハ此希望條件ニ付テ其大要ヲ申上ゲタイト存ジマス、先づ

第一ノ條件デゴザイマスガ、病氣ニ罹ッタ者

ヲ癒サウト致シマスルコトハ、即チ治療醫

學ハ醫療問題ノ末デゴザイマス、病氣ニ罹

シテ、希望條件ヲ付シテ、原案ニ贊成致シ

マスト同時ニ、附帶決議ニモ贊成ヲ表シマ

ス、原案竝ニ附帶決議ニ贊成致シマス理由

ハ、多クヲ申上ゲル必要ハゴザリマセス、

不十分ナガラモ茲ニ此重大ナル社會立法ノ

成立ヲ見ント致シテ居リマスコトヲ喜ブ者

デゴザイマス、儲テ私ノ付セント致シマス

希望條件ハ

第一、國民體位向上ノ爲メ工場、礦山、商

店ニ於ケル勞働時間ヲ制限シ、幼年工、

妊娠婦ノ保護竝ニ勞働者ノ榮養ニ關ス

ル保護制度ヲ樹テ、庶民階級ノ住宅改善

策ヲ確立セラレ度シ

第二、醫學教育制度ノ改善ヲ圖リ、廣ク

醫療機關ノ普及徹底ヲ期スルト共ニ、全

國三千五百ニ及ブ無醫村ヲ絶無タラシム

ニ治療問題ノミナラズ、進ンデ健康ノ保持増進ノ爲ニ諸施設ヲ爲シ得ル旨ヲ規定シテ居リマスガ、併シ此施設程度ノモノニ依リマシテハ、到底此根本問題ヲ解決スルコトハ不可能デアルト私共ハ思フノデアリマス、

私ハ只今希望條件ノ第一項ニ申上ゲマシタ各種ノ制度ヲ實施致シマシタナラバ、相當ノ成績ヲ擧ゲ得ルト信ズルト同時ニ、之ヲ

實施スルコトノ急務ナルコトヲ痛感スル者デアリマス、現下非常時局ニ當リ

マシテ、生產力ヲ擴充スルニ急ナル時、各軍需工業ニ從事ヲ致シマス勞働者ノ如キハ、

マシテ、生產力ヲ擴充スルニ急ナル時、各軍需工業ニ從事ヲ致シマス勞働者ノ如キハ、

朝ハ五時或ハ六時カラ夜ハ九時カラ十時マ

デ、更ニ深夜ノ夜業迄モ繼續シテ居ル實情

デアリマス、試ミニオ互ニ付テ之ヲ考ヘマシテモ分リマスガ、午後ノ一時過ギニ本會議が開カレテ午後六時過ギニナリマスト、

モウ倦怠ヲ覺エマスノカ、愚圖々々ト話ガ出ルシ、議席ガガラ空キニナリ、早ク質問ヲ打切ッテ歸ラウト致シマス連中サヘモ出

テ來ル有様デアリマス、午後一時カラ午後六時頃迄ノ審議デスラソレデアリマス、

ソレガ朝ノ五時、六時カラ夜ノ十時マデ

勤勞ニ服シテ、十分ナル休養ヲ致シマスナ

テ、性來弱イ者デナイ限リサウ病氣ニ罹

ル、性來弱イ者デナイ限リサウ病氣ニ罹

マス爲ニ

〔委員長退席、青木委員長代理著席〕

一體其健康ガ績クデアラウカト、誰シモ同情ヲ拂ヘズニハ居ラレナイ、最近内務省ノ發表スル所ニ依リマスレバ、工場労働者ノ業務中ニ於ケル負傷者、又ハ死亡ヲ致シマス者ガ著シク増加ラシテ居ルノニ驚クノデアリマス、是固ヨリ工場ガ不足デアツテ、設備不完全ニ原因シテ居ルモノガ相當アルノデアリマセウガ、併シ其多クハ過勞ノ爲ニ注意力ガ減退致シマシタ結果デアルト私ハ思フノデアリマス、今ヤ長期抗戰ニ入リマシテ、彌々倍、生産力擴充ノ要ガ緊切デアリマス、此時ニ直接其衝ニ當ッテ居リマス労働者ノ健康保持ト云フ問題ハ、最モ重大ナルモノデアリマシテ、之ヲ消磨スル虞ナキヤラ憂慮セザルヲ得ナイノデアリマス、吾々ハ此際ニ勞働時間ニ一定ノ制限ヲ加フルノ制度ヲ確立シ、又適當ナ休養ヲ與フルト同時ニ、最低賃銀制ヲ布イテ、十分ノ栄養ヲ攝

バ、一般ノ市民ヘドンナ家デモ少クトモ醤油一升二三十錢程度ノモノ、龜甲萬デ五十錢位ノモノヲ食べテ居ル、ソレガ僅カ八錢ダト云フ、味噌ニ至リマシテハ奈良漬ノ粕ナシカヲ是ヘ混入致シマシテ、馬カ犬カニ食事ヲ與ヘルガ如キオ話ニナラヌ状態ニアリマス、發育時代ノ青年子女ニ、十分ノ栄養ト體育トラ與ヘナイト云フコトハ、實ニ斯ノ如キ状態デアリマスノデ、他人万事推シテ知ルベシダト私共ハ思フノデアリマス、殊ニ幼年工ヤ姪産婦ノ如キ特別保護ヲ加フベキ者ニ對シマシテハ、十分ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ

〔青木委員長代理退席、委員長著席〕

斯様ニ日本ノ將來ヲ背負テ立ツベキ若イ男女ノ勤勞者ニ保護ヲ加ヘテ、其健康ノ保持増進ヲ圖ルコトハ、是レ即チ國力ノ充實トデアルト考ヘルノデアリマス、又商店ノ労働力ノ培養ヲ致スト云フコトハ喫緊ノコトコトガ出來ルダケノ生活ノ餘裕ヲ與ヘ、

モノガアルト私共ハ思フノデアリマス、以ニ依リマスレバ、高砂町ニ於ケル鐘淵紡績ノ女工達ハ、醤油一升八錢、味噌百匁三錢ト云々タヤウナ程度ノモノヲ用ヒラレテ居ル、一般ノ状態カラ御覽ニナリマスナラバ、一般ノ市民ヘドンナ家デモ少クトモ醤油一升二三十錢程度ノモノ、龜甲萬デ五十錢位ノモノヲ食べテ居ル、ソレガ僅カ八錢ダト云フ、味噌ニ至リマシテハ奈良漬ノ粕ナシカヲ是ヘ混入致シマシテ、馬カ犬カニ食事ヲ與ヘルガ如キオ話ニナラヌ状態ニアリマスガ、其處ノ住宅ノ如キハ、御役人サンノミニ振當テラレテ、一般庶民階級ニハ一向與ヘラレナイ、其會ノ内部ニ至リマシテハ今ヤ利慾ノ爲ニ亂レテ麻ノ如ク、カ大森ノ向フ方ノ雪ヶ谷トカ云フ所ダサウデアリマスガ、其處ノ住宅ノ如キハ、御役人サンノミニ振當テラレテ、一般庶民階級ニハ一向與ヘラレナイ、其會ノ内部ニ至リマシテハ今ヤ利慾ノ爲ニ亂レテ麻ノ如ク、カ大森ノ向フ方ノ雪ヶ谷トカ云フ所ダサウ

次イデ第二ノ點デゴザイマスガ、現在ノ醫學教育制度ハ、曩ニ河合委員カラモ指摘致シマシテ、「コスト」ノ高イ御醫者ノミ作ルコトニ偏シテ居リマス(笑聲)御醫者サンハ年々增加ヲ致シテ行クノニ、地方農村ノ醫師ガ次第ニ減少シテ行クノハ、確ニ此醫學制度ノ偏リタルコトガ、重大ナル原因デアルト私共ハ考ヘル、明治九年ノ醫師數ガ二万二千三百九人、ソレガ昭和二年ニナリマスルト四万七千百十人、同十年ニ至リマシテハ五万七千五百八十一人ト云フ激増ヲ示シテ居ルニ拘ラズ、年一年ト御醫者ノ居ナイ村ガ殖エテ居ルデハアリマセヌカ、昭和二年ニハ二千九百九箇町村デゴザ

スノニ、其勤務ハ相當エライ、其上ニ食事ナドハ實ニ是ハ御話ニナリマセヌ、過日井

勿レ三千五百二十七箇町村ト云フ數字ヲ示シテ居リマシテ、是レ畢竟制度ノ變革カラ來ルモノデアツテ、昔ハ從來ノ開業醫或ハ醫師試驗ニ合格致シマシタ者、或ハ府縣ノ醫學校ヲ出マシタ者、斯ウ云フ人達ガ醫業ニ從事ヲ致シテ居リマシタ爲ニ、大概全科醫デゴザイマシテ、其大部分ハ農村ニ居住ヲ致シテ居リマシテ、其經營モ立派ニ立ッテ居タノデゴザイマスガ、次第ニ制度ガ改メラレテ、醫師ハ總テ學校ヲ出ナケレバナラヌ、又年ト共ニ舊來ノ醫師ハ次第ニ死亡スルトカ、其他ノ原因デ減ッテ行ク一方デアリマス、其一面ニ於テ専門學校ヤ大學ナゾヲ出タ御醫者サンガ、年々增加ヲ致シテ參リマシテ、最近デハ只今申上ゲマスルガ如ク、専門學校ハ醫科大學ニ昇格ヲシテ參リマシタ、サウ云フ具合ニ大變御偉イ、地位ノ高イ御醫者ダケガ次第ニ増加ヲ致シマシテ、經濟能力弱イ農村ニハ、斯ウ云フ御醫者サンハドヌ、斯ウ云フ有様デ、從來ノ舊時代ノ醫師化ノ低イ片田舎に入リ込ムコトヲ欲シマセウモ向カナクナツテ來タ、若イ醫學士ハ又文辛ウジテ醫療機關ヲ充シテ居リマシタ農村デヘ、舊時代ノ醫師ノ減少スルニ伴ヒマシ

テ、御醫者サンノ居ナイ村ト云フモノガ、次第ニ増加ヲスルト云フ實情ヲ示シテ居リマス、政府ガ折角力ヲ御入ニナッテ居リマスル無醫村ニ於ケル診療所デモ、又產業組合ノ經營致シマスル所ノ醫療利用組合ニ致シマシテモ、之ニ赴任ヲ致シマスル御醫者ヲ求メルノニ困難ヲ感ジツ、アル實情デアル、又折角雇ツテ参リマシタ御醫者サンガ、直グ逃げ出スト云フ事例サヘアルデハアリマセヌカ、斯ウ云フ有様デハ、今回茲ニ提出サレマシタ所ノ國民健康保險法ガ實施サレマシテモ、眞ニ廣ク醫療機關ノ普及徹底ヲ期スルト云フコトハ、餘程困難デハナイカト云フコトヲ、私共ハ憂ヘザルヲ得ナインデアル、ソコデドウシテモ醫學教育制度ト云フモノヲ根本的ニ改革致シマシテ、農村ニモ喜ンデ赴クヤウナ御醫者ヲ作ルヤウニシナケレバナラヌ、一例ト致シマシテ、例ヘバ農村カラ公費生ヲ出シテ、必ズ農村ニ於テ開業スルコトヲ約束付ケルヤウナ方針ヲ立テルト云フコトモ一ツデアリマセウ、又今申上ゲマスル所ノ専門學校ヲ、大學ニ昇格致シテ居リマスケレドモ、更ニ他ニ専門學校ヲ造ツテ、農村ヘモ十分ニ進ンデ行クダケノ御醫者ヲ作ル、更ニ又醫育方針ニ付キマシテモ、社會學トカ經濟學トカ云

層民ノ爲ニ進ンデ飛込ンデ行ッテ、仁術ヲ施
スト云フ精神ヲ教養スルナドハ、是ハ沟ニ
云フ有ユル方策ヲ立テマシテ、地方農山漁
村ヘモ醫療機關ノ普及徹底ヲ期スルト云フ
コトガ、洵ニ必要デアルト私共思フノデア
リマス、更ニ政府ノ計畫致シテ居リマス無
醫村診療所ニ付キマシテモ、モット／＼豫算
ヲ多ク計上サレマシテ、速ニ其普及ヲ圖ラ
レルヤウニ熱望致シテ止マナイ次第デアリ
マス

マヌ次第デアリマス、以上ノ希望條件ヲ附シマシテ、贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス
○添田委員長 田中耕君
○田中(耕)委員 私ハ第二控室ヲ代表致シ
マシテ簡単ニ意見ヲ申述べマス、私ハ此國民健康保険法案ニ對シマシテ、初メテ之ヲ施行セントスル現在ニ於テモ非常ニ不満ヲ持チマスルガ、是ノ將來ニ對シテモ期待ヲ懸ケルコトノ出來ナイコトヲ、國家ノ爲ニ遺憾ト思フノデアリマス、何トナレバ、政府ハ之ヲ革新政策ト言ヒ、或ハ保険國策トマデ宣傳致シマシテ、國民ハ第七十議會以來多大ノ期待ヲ持ッテ居タノデアリマス、今デモ相當ナ期待ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、ソレハ内容ヲ知ラナイ爲メデアルト思ヒマス、若シ本案實施ノ内容ヲ知ッタナラバ、非常ニ失望スルコトト思フノデアリマス、即チ豫算ガ僅ニ四十二万五千餘圓デ、補助費ガタツタ十六万六千餘圓ト云フヤウナ、慈善事業家一人デモ出來ルヤウナ少額デアル、本年度ノ組合ノ設立豫定ガ僅ニ二十組合デ、全國一万二千箇町村ノ百分ノレタ厚生省ノ「スタート」ヲ切ル保健國策力

ト誰シモ驚カザルヲ得ナイコトト思フノデ
アリマス、厚生省ノ方々モ、此貧弱ナル豫
算デハ定メシ御恥シク思ハレルコト推察
致シマス、唯今年ハ已ムヲ得ナイガ、將來
ニト希望ヲ囑サレテ居ルヤウデアリマスガ
十年後ニシテ漸ク半數ノ六千組合デ、被保
險者數ガ二千五百万ト云フコトデアル、
而モ豫定通リニ行ッテソレダケデアリマス、
アノ政府ノ豫定表ヲ見マスルト、恐ラク豫定
通リニ進ムコトハ難カシカラウト思ヒマスガ、
サウスルト是ダケノ實現ヲ見ルノモ十五年
後、二十年後ノ將來ニナルノデアリマス、
更ニ茲ニ大ナル不安ヲ懷クコトハ、出來タ
組合ガ果シテ維持繼續出來ルカト云フ問題
デアリマス、今地方自治體ハ公租公課ガ非
常ナル負擔ノ重壓トナツテ居リマス、生命保
險ナドニ加入致シマシテモ、結局途中デ解約
ヲシテシマフト云フ者ガ簇出シテ居ル狀態
デアリマス、斯ウ考ヘテ見マスルト、恐ラ
ク此保險料ハ負擔ニ堪ヘナイデアラウト思
フ、即チ保險料ノ滯納ト經常費ノ赤字ニ依ッ
テ、遂ニ組合ハ維持出來ナイ結果ニナリハ
シナイカト云フコトヲ憂ヘル者デアリマス、
斯ク觀ジ來リマスル時ニ、現在ノ矛盾セル
醫療制度ニ基礎ヲ置イタ所ノ本法案ニ對シ
マシテハ、將來ニ於テモ遺憾ナガラ希望ヲ

繫グコトハ出來ナイノデアリマス、斯ク申
シマスルト何カ故ラニ反対センガ爲ニ申ス
ニト希望ヲ囑サレテ居ルヤウデアリマスガ
モシナイト云フ程度ニ於テ贊意ヲ表スル次
第デアリマス、唯此機會ニ本案ニ對シマシ
テ希望意見ヲ三項ホド申上ゲテ置キマス
一、政府ハ本案ノ如キモノニ満足セズ宜
シク醫療ノ根本國策ヲ樹立シ醫業ノ國營
ヲ斷行スベシ

此意味ハ、本案ノ根本的缺陷ハ、國民ノ
保健衛生ト云フコトヲ、經濟力ノ薄弱ナ地
方自治體ニ任シテ居ルト云フコトデアリマ
ス、補助金ヲ交付スルト言ヒマシテモ、一
箇年一人五十錢ヤ一圓デハ申譯ニ過ギナイ
ノデアリマス、元來國民ノ健康ハ、國家ガ
組合ノ保險料ハ他ノ組合ニ比較シマシテ著
シク高率負擔トナリ、結局負擔ニ堪ヘズシ
テ、組合ハ赤字トナリ、遂ニ解散ノ悲境ニ立
タナケレバナラナイヤウナ狀態ニナルコトヲ
憂フル者デアリマス、政府ハ宜シク貧弱組
合ニ對シマシテハ多額ノ補助金ヲ交付シテ
貰ヒタイト云フノデアリマス
三、政府ハ本法施行ニ際シ醫療機關選擇
ノ自由ヲ與フル原則ト醫療內容ノ公正ヲ
期スル原則ニ準據シ投藥ニハ必ズ處方
箋ノ制度ヲ採用シ何レノ醫師藥劑師ヲモ
首肯サレル藥價トナリ、藥劑ノ應用ガ適正
アリマス、尙又此處方箋ヲ交付スルコトニ
要トスル譯デハアリマセヌ、命令ノ規定ノ
ト云フノデアリマス、隨テ法律ノ改正ヲ必
要トスル譯デハアリマセヌ、命令ノ規定ノ
中ニ定メテ置イテ然ルベキモノト思フノデ
アリマス、尙又此處方箋ヲ交付スルコトニ
粗藥トカ、或ハ一劑ヲ以テ事足ルモノニ二
劑三劑ヲ與ヘルトカ、一週間デ足ルモノヲ
粗藥トカ、或ハ一劑ヲ以テ事足ルモノニ二
劑三劑ヲ與ヘルトカ、一週間デ足ルモノヲ

繫グコトハ出來ナイノデアリマス、斯ク申
シマスルト何カ故ラニ反対センガ爲ニ申ス
ヤウデアリマスガ、折角政府ガ自信ヲ以テ
出サレタ法案デアリマスカラ、敢テ反対ハ
致シマセヌ、即チ期待モシナケレバ、反対
モシナイト云フ程度ニ於テ贊意ヲ表スル次
第デアリマス、唯此機會ニ本案ニ對シマシ
テ希望意見ヲ三項ホド申上ゲテ置キマス
一、政府ハ本案ノ如キモノニ満足セズ宜
シク醫療ノ根本國策ヲ樹立シ醫業ノ國營
ヲ断行スベシ

業ノ國營ヲ斷行シテ醫療ノ根本的矛盾ヲ芟
除スルヤウニ御努力ヲ望ミタイト思フノデ
アリマス

二、本法施行ニ當リ、政府ハ補助金ヲ出
來得ル限リ増額スルト共ニ、劃一的ニセ
ズシテ貧弱組合ニハ多額ニ交付スベシ
是ハ富村組合モ貧弱組合ハ醫療内
容ノ低下ヲ來シマス、サウシマスト療養給
付ノ程度ニ於テモ差異ヲ生ズルノデアリマ
ス、醫療内容ヲ低下シナイデ置カウトスル
ナラバ結局保險料ガ高クナリマス、即チ貧弱
組合ノ保險料ハ他ノ組合ニ比較シマシテ著
シク高率負擔トナリ、結局負擔ニ堪ヘズシ
テ、組合ハ赤字トナリ、遂ニ解散ノ悲境ニ立
タナケレバナラナイヤウナ狀態ニナルコトヲ
憂フル者デアリマス、政府ハ宜シク貧弱組
合ニ對シマシテハ多額ノ補助金ヲ交付シテ
貰ヒタイト云フノデアリマス
三、政府ハ本法施行ニ際シ醫療機關選擇
ノ自由ヲ與フル原則ト醫療內容ノ公正ヲ
期スル原則ニ準據シ投藥ニハ必ズ處方
箋ノ制度ヲ採用シ何レノ醫師藥劑師ヲモ
首肯サレル藥價トナリ、藥劑ノ應用ガ適正
アリマス、尙又此處方箋ヲ交付スルコトニ
要トスル譯デハアリマセヌ、命令ノ規定ノ
ト云フノデアリマス、隨テ法律ノ改正ヲ必
要トスル譯デハアリマセヌ、命令ノ規定ノ
中ニ定メテ置イテ然ルベキモノト思フノデ
アリマス、尙又此處方箋ヲ交付スルコトニ
粗藥トカ、或ハ一劑ヲ以テ事足ルモノニ二
劑三劑ヲ與ヘルトカ、一週間デ足ルモノヲ

藥劑師トニツノ醫療機關ガアルニ拘ラズ、
是ハ從來ノ健康保險ニ於キマシテ、醫師ト

二適問服藥サセルト云フヤウナ不正ナ事、
マシテハ、將來ニ於テモ遺憾ナガラ希望ヲ

其他種々ナル弊害ガ一掃サレマシテ、患者ノ藥價負擔ガ正確トナリ、隨ツテ保険經濟ノ上ニモ大ナル節減トナルト思フノデアリマス、右ノ理由ニ依リマシテ、投藥ニハ必ズ處方箋ノ制度ヲ採用スルコトヲ希望スル次第デアリマス、以上三ツノ希望ヲ付シマシテ、消極的贊意ヲ表スル次第デアリマス

○添田委員長　田中養達君

○田中(養)委員　私ハ東方會ヲ代表致シマシテ、現下ノ社會情勢ニ鑑ミテ、本案竝ニ附帶條項ニ贊成致シマス、併ナガラ是ガ實際運用ニ當リマシテハ、組合ノ理事者竝ニ監督官廳ノ自由裁量ニ任サレタ點ガ多々アルノデアリマス、以下五ツノ希望條項ヲ附シテ贊成シタイト思フノデアリマス

第一ハ、被保險者ヲシテ最モ廣ク醫師ノ自

由選擇ニ支障ナキ様注意サレタシ、之ヲ具體的

ニ言ヒマスト、少クトモ各府縣單位カ又ハ大

キナ縣デハ前ノ組合ノ範圍位ニシテ戴キタ

第一ハ患者ノ祕密ノ漏洩ヲ絶對ニ防止

シテ戴キタイ、是ノ具體的ニハ少クトモ

第一ニ申シマシタヤウニ、府縣單位クラ

キニ致シマセヌト、之ヲ防止スルコトハ

絶對ニ出來マセヌ、患者ノ祕密漏洩ニ付テ

ハ法律ハ醫師ニ對シテ若シ漏洩シタ場合

ニハ六箇月ノ懲役、罰金等ノ重イ刑ヲ以テ

臨マレテ居リマスガ、本案ノ趣旨デ地方町村理事者ニ之ヲ任シテ置キマスト、勢ヒ毎月醫者ノ請求書ヲ査定セナケレバナラヌコトニナリマスノデ、ソレヲ査定サレル町村ノ五人ナリ七人ナリノ理事者ハ、其内容ヲ密ノ公開ニナル、此點ハ餘程私ハ注意サレマセヌト、僅ノ負擔ハ輕減サレタガ、其爲ニ其村其地方ノ俗ニ言フ理事者ト稱スル五人ナリ、七人ナリ、十人ナリノ人等ニ、偶、自分ノ或ハ自分ノ家族ノ祕密ノ病氣ガ暴露サレルト云フコトガアルト、是ハ金錢ノ問題デナインデアリマス、若シ本案通リニ行クナラバ、私ハ寧ロ被保險者ハ二重ノ負擔ニナルト思フ、祕密ノ病氣ノ人ハ、必ズ自己ナリ、七八ナリ、十人ナリノ人等ニ、偶、自分ノ或ハ自分ノ家族ノ祕密ノ病氣ガ暴露サレルト云フコトガアルト、是ハ金錢ノ問題デナインデアリマス、若シ本案通リニ行クナラバ、私ハ寧ロ被保險者ハ二重ノ負擔ヲ嚴重ニ取締ッテ戴キタイ、「ビー」ハ醫療類似行爲ヲ取締ッテ戴キイ

第五ハ便宜上ニツニ分ケテ、「エー」賣藥法ヲ改正シテ、賣藥ノ無責任ナル誇大廣告ニナルト思フ、祕密ノ病氣ノ人ハ、必ズ自己ナリ、七八ナリ、十人ナリノ人等ニ、偶、自分ノ或ハ自分ノ家族ノ祕密ノ病氣ガ暴露サレルト云フコトガアルト、是ハ金錢ノ問題デナインデアリマス、若シ本案通リニ行クナラバ、私ハ寧ロ被保險者ハ二重ノ負擔ヲ嚴重ニ取締ッテ戴キタイ、「ビー」ハ醫療類似行爲ヲ取締ッテ戴キイ

第五ハ便宜上ニツニ分ケテ、「エー」賣藥法ヲ改正シテ、賣藥ノ無責任ナル誇大廣告ニナルト思フ、祕密ノ病氣ノ人ハ、必ズ自己ナリ、七八ナリ、十人ナリノ人等ニ、偶、自分ノ或ハ自分ノ家族ノ祕密ノ病氣ガ暴露サレルト云フコトガアルト、是ハ金錢ノ問題デナインデアリマス、若シ本案通リニ行クナラバ、私ハ寧ロ被保險者ハ二重ノ負擔ヲ嚴重ニ取締ッテ戴キタイ、「ビー」ハ醫療類似行爲ヲ取締ッテ戴キイ

以上五ツノ希望ヲ附シテ贊成スルノデアリマスガ、本案竝ニ特ニ附帶條項ノ中ニハ、内ノ醫者ヲ選ブ場合ニハ、實費給與ヲスレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトヲ直グ考ヘラレマスケレドモ、其實費給與ヲ頼ミニ行シテ戴キタイ、是ノ具體的ニハ少クトモ第一ニ申シマシタヤウニ、府縣單位クラキニ致シマセヌト、之ヲ防止スルコトハ

折角ノ此法案ガ、却テ國民カラ怨マレルヤハ、法律ハ醫師ニ對シテ若シ漏洩シタ場合ウナ結果ニナルコトヲ非常ニ惧レルノデアリマス、其意味ニ於テ少クトモ醫者トノ協定ハ、府縣單位グライニシテ、而シテ其醫療內容ノ査定ハ、醫者竝ニ官吏ト稱スル特ナラバ、胃病ニ炭酸ガ効クト云フコトハ是ハ常識デアル、是ハ社會通念デアリマシテ、醫者ハ勿論素人モ知ッテ居リマス、併ナガラ重曹ヲ胃病ニ本當ニ完全ニ使ヒ得ラル者ハ名醫デアリマス、ソコデ胃病ニ炭酸ヲ使者ノ獨創トガ一ツニナッテ、初メテ茲ニ完全ニ炭酸ガ使ハレルノデアリマス、此事自體ハ藝術デアリマス、此事ヲ何ニ依ッテ防止サレルカ、イヤ胃病ノ藥ガ安カッタトカ、高カッタトカ言ハレマスガ、此醫療ノ內容ノ低容低下ヲ防グト云フコトハ強ク諷ハレ、委員會終始通ジテノ問題デアリマスガ、併シガ同ジデモ大觀ノハ千圓デアリ、夜店ノ繪料ハ何處ガ違フカ、殆ド變リマセヌ、原料ガ同ジデモ大觀ノハ千圓デアリ、夜店ノ繪師ノハ一圓デ出來マス、此點ヲ特ニ留意サレマセヌト、或ハ產業組合其他ノ連中カ、何カ知ラヌガ、安イ治療費デ上ガツタト云フコトヲ非常ニ誇トサレマスガ、此安イ治療費ト稱スルモノハ、千圓ノ大觀ノ繪ニアラズシテ一圓ノ夜店ノ繪ヲ買ッテ來タノト同ジデアル、此一圓ノ繪ヲ強イラレル所ニ、

第六類第四號　國民健康保險法案委員會議錄　第九回　昭和十三年二月十五日

測リ知ルコトノ出來ヌ不幸ガ存在スルノデ
アリマス、私ハ此點ハ理窟ヲ拔イテ、特ニ
當局者ハ本案運用ノ上ニ非常ニ御注意ニナ
リマセヌト、金錢ニ代ヘラレナイ問題ガ生

ズルト思ヒマス、幸ニ此點ハ希望條項ノ中

ニモ強ク謳ハレテ居リマスカラ、之ヲ特ニ
希望ニ入レテ戴キタイト云フノデハアリマ
セヌケレドモ、ドウカ此コトモ附加ヘテ戴
キタイ、殊ニ補助金ノ増額及本法ノ普及徹

底ヲ圖ルベシ、斯ウ云フコトモ併セテヤッ
テ戴キタイト云フ希望ヲ附シテ、本案ニ贊

成スル次第デアリマス

○添田委員長 討論ハ終了ヲ致シマシタ、
採決ニ入ルニ先ダチマシテ御諸ヲ致シマ

ス、先ヅ本案ニ付テノ採決ヲ致シ、次ニ附
帶決議ノ採決ヲ致シタイト思ヒマス、之ニ
別ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○添田委員長 是ヨリ採決ヲ致シマス、國
民健康保險法案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ望ミ
マス

〔總員起立〕

○添田委員長 満場一致本案ハ可決セラレ
マシタ

〔拍手起立〕

○添田委員長 次ニ附帶決議ニ付テ採決ヲ

致シマス、喜多君提出ノ附帶決議ニ賛成ノ
諸君ノ起立ヲ望ミマス

〔總員起立〕

○添田委員長 是亦滿場一致ヲ以テ可決セ

ラ

レマシタ（拍手）北君、佐竹君、田中耕君

田中養達君ヨリ御述ニナリマシタ御意見ハ、
其主ナル點ヲ御意見トシテ伺ッテ、本會議
私ヨリ報告ヲ致シタイト思ヒマス

○佐竹委員 私ハ先程希望條件ト申シマシ
タノハ、希望意見デゴザイマスカラ、左様

御訂正ヲ願ヒマス

○田中（養）委員 内容ノ説明ハ無論省略シ
テ宜イガ、項目ダケハ間違ヒナク竝ベテ言ツ
テ戴キタイ

○添田委員長 ソレハ後カラ御相談致シマ
ス

テ戴キタイト

○添田委員長 ソレハ後カラ御相談致シマ
ス

テ戴キタイト

○工藤政府委員 重大ナル社會法案モ實情
ニ即シタ種々ナル御審議ガアリマシテ、今
日本委員會ニ於テ之ヲ可決シテ戴イタト云
フコトヲ、私ハ深ク感謝スル者デアリマス、
而シテ本案ニ伴フ附帶決議ハ纏テ院議トナ
ルノデアリマスカラ、希望條項トハ違ヒマ

シテ、從來ノ取扱ニ依シテモ本文ニ準ジル如
キ力ヲ以テ、私共ハ之ヲ考ヘナケレバナラ

ヌト思ヒマス、隨テアノ三箇條へ煎ジ詰メ
タ三箇條デアリマシテ、纏テ本會議デ院議
トニ付テ可決セラレマシタ

トシテ御採用ニナルト考ヘマスガ、政府ト
致シマシテハ出來ルダケノ努力ヲ以テ、之
ヲ實現スルコトニ致シマス、茲ニ謹ンデ御

禮ヲ申上ダマス（拍手）

○添田委員長 一寸此際私ヨリ御挨拶ヲ申

上ダマス、國民健康保險法案ガ此委員會ニ
附議セラレマシテ以來、連日諸君ノ極メテ
熱心ニシテ、且ツ慎重ナル御意見ナリ御質
問ガアリマシテ、圓滿ナル結果ヲ到來スル
ニ至リマシタコトハ、私ト致シマシテモ深
ク感謝ヲ致ス所デアリマス、委員會開會中
ハ兎角不慣レデモアリ、色々ノ失策モアッタ
カト思フノデアリマスガ、寛大ナル諸君ノ
雅量ニ依リマシテ、先ヅ大過ナク結了致シ
マシタコトヲ、私ハ茲ニ厚ク御禮ヲ申上ダ
マシテ、本會ヲ閉ヅルコトニ致シマス（拍